学校番号	303

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「　美術３　」　（光村出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・課題のねらいを理解し、想像力を働かせアイデアスケッチに時間をかけ、自ら主題を考えよう。
・計画的に制作し完成度の高い作品制作をめざそう。
・美術Ⅰ、Ⅱで学んだ表現や技術を生かし、様々な表現を試み、自分らしい作品制作をしよう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・自分の表現内容や意図に応じて材料や用具の特性を理解する。素材の特性を生かし、そのための技能を身に着けることができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
・主題に応じて多くの視点から発想し、独自の表現を探ること。創意工夫を重ね、計画的に作品制作ができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
・主体的に作品制作や鑑賞に取り組み、幅広い視点を身に付けようとし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育む。美術への理解を深め、美術文化を尊重する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を工夫し、表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	鑑賞	教科書等を鑑賞し多様な表現について学び、美術Ⅲの学習イメージを持つ。 レポート記入後、鑑賞内容を発表する。	a:美術作品への理解を深めている。 b:美術作品や文化に対する感じ方を深めている。 c:美術の表現に関心を持ち意欲を高めている。	レポート・発表内容	レポート・発表内容	鑑賞・発表態度
	絵画	【絵画〈30号〉】の制作 ・抽象表現について、代表的な作家、作品を鑑賞し、表現について学ぶ。 ・小作品を制作し、絵の具の表現や色の効果について学ぶ。 ・高校展出品を目標に、絵画部門で各自がテーマを設定し、アイデアスケッチをする。 ・授業日程に沿って、制作プランを考える。 ・中間考査までに、絵画、版画は6割以上の完成度になるように制作をすすめる。 ・3年間の集大成になるよう、素材や制作方法を工夫する。 ・制作レポート、鑑賞レポートを丁寧に書く。	a:学習内容に関心を持ち、画材や技法を選択し、手順を理解している。 b:自分の表現の意図を踏まえ、構想を練り、主題を生成できている。画材や配色、技法などについてその効果や働きなどに考えを巡らせ造形している。 完成作品、他者の作品についてよく鑑賞し客観的に文章にまとめている。 c:大作制作に意欲的、主体的に取り組んでいる。 レポート作成に意欲的に取り組んでいる。	制作過程 完成作品 画材や技法の工夫	スケッチ 制作過程 レポート内容 完成作品	制作姿勢 レポート内容
2学期	高校展レポート	【鑑賞】 高校展または他の展覧会等を鑑賞しレポートを丁寧に書く。	a:作品や技法に理解を深めている。 b:作品や作者の意図や工夫に感じ方を深めている。 c:作品や作者に関心を持ち意欲を高めている。	レポート内容	レポート内容	レポート内容

	版画	【版画】 ・コンクール展又はブロック展出品を目標に、各自がテーマを設定しアイデアスケッチ、制作プランを練る。 ・材料や資料などを考え、用意する。 ・計画的に制作をすすめる。 ・３年間の集大成になるよう、素材や制作方法を工夫する。 ・制作レポート、鑑賞レポートを丁寧に書く。	a:課題内容を理解し、意図に応じて画材や表現方法を選択、工夫し制作に取り組んでいる。 b:自分の表現の意図を踏まえ、構想を練り、主題を生成できている。画材や配色、技法などについてその効果や働きなどに考えを巡らせ造形している。 完成作品、他者の作品について、よく鑑賞し客観的に文章にまとめている。 c:制作に意欲的、主体的に取り組んでいる。 レポート作成に意欲的に取り組んでいる。	制作過程 完成作品 画材や技法の工夫	スケッチ 制作過程 レポート内容 完成作品	制作姿勢 レポート内容
３学期	デザイン	【立体デザイン「椅子」】 ・建築家や建築物の紹介、作品鑑賞。 ・椅子のデザインについて、作家やデザインの意図について具体的に学ぶ。 ・人のスケール感と椅子の高さについて調べ、椅子の用途の多様性を知り、椅子の役割とデザインについて考える。 ・自分が座るための椅子のデザインを考え、10 分の 1 スケールの椅子模型と人物模型を制作する。 ・椅子の使われる場面を具体的に想像し、プレゼンテーションし、レポートにまとめる。	a:学習内容に関心を持ち、デザインや構造物の特性を理解している。 b:自分の表現の意図を踏まえ、構想を練り、主題を生成できている。デザイン、素材、配色などについてその効果や働きなどに考えを巡らせ造形している。 完成作品、他者の作品について、よく鑑賞し客観的に文章にまとめている。 c:デザインの面白さに気づき、その用途を考えながら、主体的に取り組んでいる。 レポート作成に意欲的に取り組んでいる。	制作過程 完成作品 デザイン 画材や技法の工夫	スケッチ 制作過程 デザイン レポート内容 完成作品	制作姿勢 レポート内容
	校内展レポート	【鑑賞】 ・校内展を鑑賞し、レポートを丁寧に書く。	a:作品や技法に理解を深めている。 b:作品や作者の意図や工夫に感じ方を深めている。 c:作品や作者に関心を持ち意欲を高めている。	レポート内容	レポート内容	レポート内容

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度